

成果報告書

(地域部活動推進事業)

長野市立三陽中学校

所在地	長野県 長野市
運営主体	ながの演劇倶楽部
事業目標	<p>【目標】文化芸術団体と連携した地域部活動の在り方を検証する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8校合同による文化活動拠点の構築 ・定期的な活動実施 ・保護者の負担を最小限に抑える資金運営 ・地域部活動での専門的な指導と多様な活動機会の保障
団体・組織等の連携	<p>ながの演劇倶楽部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修 ・実践事例等の情報提供 ・指導者の確保 ・練習会場の確保 ・クラブ運営 <p>各校顧問がコーディネーター</p>
活動場所	長野市内の公民館・隣保館など
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な部活動の指導 ・演劇部がない学校や、演劇部に属さないが演劇に取り組みたい生徒を集めてのワークショップ ・指導者は4人を予定 <p>※新型コロナウイルス感染症の感染予防による活動自粛で、大人の演劇活動も自粛しているため、計画通りの活動が実施できていない。</p> <p>【定量的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧問は、演劇経験と知識が不十分なため、指導への不安があることから、日常の部活動における基本的な指導法についての研修の機会に位置付ける。 <p>【定性的観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧問は、指導への心理的負担軽減や、休日の時間的な負担軽減につながることから、肯定的な意見が非常に多い。 ・子どもや保護者は、専門的な知識や技術を学べる場、他校の生徒との交流の場であることから、肯定的な意見が非常に多く、定期的に活動することを望んでいる。

○本事業による成果

長野市文化芸術課が主催した「中学校演劇部のためのワークショップ」(2回)へ、倶楽部より講師として3人参加した。教職員が演劇について、知識不足に対する精神的な不安がある中、今後の部活動指導の参考としたり、生徒が主体的に活動できる練習方法等を教職員自身が学ぶ機会としたりできた。

そのほか、部活動の指導や演劇部に属さない生徒を集めてのワークショップ等を実施したかったが、コロナの影響により断念した。コロナの感染状況を踏まえ、次年度以降に実施を検討したい。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・生徒にとっても、教職員にとっても、分かりやすい指導
- ・誰もが心から楽しめる雰囲気づくり

○運営上の工夫

- ・指導者同士が指導方法等について頻繁に打合せを行う。
- ・教員が簡単に指導できるよう、マニュアルを作成する。
- ・時代を鑑み、ICTや動画配信等を活用した活動を視野に検討している。

○継続的な運営に関する課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が続くようであれば、練習場所の確保や、指導そのものが難しいが、感染が収束してくれば大きな課題はないと考える。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

- ・部活動の指導については、定期的に学校に出向いての活動は可能と思われるため、次年度計画を立て講師による指導を行う。また、成果として、文化祭での発表などを目標に指導を行う。
- ・生徒や教員への指導や情報提供について、ICTや動画配信等の活用も検討している。
- ・拠点校を中心に、ワークショップを開催する。

※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。

※『地域移行(展開)を進める際のポイントチェックリスト』を参照すること。

募集方法	チラシ配布、ポスター掲示、学校での通知
指導者	演劇経験者4名
移動手段	保護者による送迎（学校外で実施する場合）
活動費用	活動に係る主な費用について記載する。
スケジュール	年間スケジュール等を記載する。
保険加入等	特になし

※文化庁ホームページ:地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた検討会議 [事例集](#)を参照

掲載URL

https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/92801101_09.pdf

※それぞれの項目に掲載しているのはあくまで例示ですので、掲載しているもの以外の観点等で自由に記載していただいて結構です。ただし、どこかの項目に学校の働き改革(教員の負担軽減)を踏まえた観点の記述を必ず入れていただきますようお願いいたします。(本事業の最大の目的であるため)

【活動の様子（写真添付）】

